

学都仙台単位互換ネットワークに関する協定に基づく

2021年度

単位互換学生募集要項



東北生活文化大学  
東北生活文化大学短期大学部

TOHOKU SEIKATSU BUNKA UNIVERSITY & JUNIOR COLLEGE

## 1. 開講授業科目

### 【 東北生活文化大学 】

#### 美術学部美術表現学科

授業科目名	単位数	担当教員	受入学生数	開講日時	開講時期	教材費	授業概要 (シラバス) (別紙参照)
彫刻Ⅰ	2	佐藤 淳一	2名程度	木 9:00~12:10	前期	5,000円	シラバス 1
プロダクトデザインⅠ	2	落合 里麻	2名程度	火 9:00~12:10	前期	5,000円	シラバス 2
アニメ・ゲームⅠ	2	鈴木 専	2名程度	金 9:00~12:10	前期	なし	シラバス 3
視覚デザインⅡ	2	三上 秀夫	2名程度	木 9:00~12:10	後期	なし	シラバス 4
情報デザインⅡ	2	鶴巻 史子	2名以内	木 13:00~16:10	後期	なし	シラバス 5

### 【 東北生活文化大学短期大学部 】

#### 生活文化学科

授業科目名	単位数	担当教員	受入学生数	開講日時	開講時期	教材費	授業概要 (シラバス) (別紙参照)
統計学	2	池田 展敏	制限なし	月 14:40~16:10	後期	なし	シラバス 6
ピアノⅠ	1	佐藤 和貴	2名	水 13:00~14:30	前期	なし	シラバス 7
地球環境学	2	黒川 優子	制限なし	水 14:40~16:10	後期	なし	シラバス 8

## 2. 試験及び評価方法

- (1) 成績評価は学期内に行う試験及びこれに準ずる考査によって行います。
- (2) 試験の評価の表示は、S、A、B、C及びDとし、C以上を合格とします。  
(90点~100点(S)、80点~89点(A)、70点~79点(B)、60点~69点(C)、59点以下(D))
- (3) 次の理由のいずれかに該当する場合は、追試験を認めます。事態が生じたときは、所属大学又は短期大学に申し出てください。
  - ① 本学と所属大学又は短期大学の通常の試験が重複
  - ② 公共交通機関の不通等(証明書添付)
  - ③ 病気等(診断書添付)
  - ④ 忌引(所属大学又は短期大学における事実確認)
  - ⑤ その他本学が認める場合

### 3. 出願条件

単位互換協定に参加した大学又は短期大学の正規学生が対象となります。

### 4. 出願手続

履修を希望する場合は、次の期間に単位互換学生（特別聴講学生）願書（用紙は所属大学又は短期大学にあります。）を所属大学又は短期大学に提出してください。

- |            |            |
|------------|------------|
| (1) 前期授業科目 | 4月 1日（木）まで |
| (2) 後期授業科目 | 9月 9日（木）まで |

### 5. 履修期間

1年以内とし、履修しようとする授業科目の開講年度又は開講学期の間とします。

### 6. 入学金及び授業料

徴収しません。ただし、授業科目によって教材費等で実費相当の経費が必要な場合は、各自の負担となります。

### 7. その他

- (1) 本学の施設利用については、原則として本学学生に準じます。ただし、施設によっては、本学発行の学生証と合わせて所属大学又は短期大学発行の学生証の呈示を求める場合があります。
- (2) 服装については自由です。ただし、学生にふさわしい服装、身だしなみを心がけてください。

### 8. 本学の担当窓口及び所在地（「ACCESS」参照）

東北生活文化大学 教務課（百周年記念棟1階）

〒981-8585 仙台市泉区虹の丘一丁目18番地の2

TEL：022-272-7513 FAX：022-301-5602

E-mail：[dkyomu@mishima.ac.jp](mailto:dkyomu@mishima.ac.jp)

### 9. 学事予定

#### \*前期授業

4月8日（木）～7月29日（木）

前期試験期間 7月30日（金）～8月5日（木）

#### \*後期授業

9月16日（木）～12月21日（火）

（冬季休業：12月25日（土）～1月5日（水））

1月6日（木）～1月24日（月）

後期試験期間 1月25日（火）～1月31日（月）

#### \*大学行事等での休講

2021年10月15日（金）大学祭準備

10月18日（月）大学祭代休

#### \*振替授業

2021年 9月16日（木）水曜日授業

2022年 1月 7日（金）月曜日授業

# シラバス

## 彫刻 I

( 12125 )

単位：2単位  
 対象学科：美表2年  
 授業形態：実技 学期：前期  
 美術表現学科専攻科目  
 佐藤 淳一

## ■ 授業の概要

彫刻作品とは何かを学ぶ。宮城県美術館の彫刻作品研究や様々な美術作品を紹介し興味を喚起し制作に主体的に取り組むための態度を身に付けさせる。彫刻の造形要素である、量感、塊、動勢、空間、表面を塑造により教授する。デッサンを重視し紙のうえで造形要素を意識させてから自分をモデルにして心棒作りから制作、石膏取りまでを教授する。立体の意識を身に付けるために自作教材の面取りの像も参考にさせながら制作し、造形力とスキルを身に付けさせる。生動感のある彫刻作品を制作できるように指導する。

## ■ 授業の到達目標

	学位授与の方針との関連
・彫刻的造形力を身につける	①③
・生動感のある作品を制作することができる	③⑤
・作業を他と協働して行うことができる	⑥

## ■ 授業計画

	自習（事前・事後学修の内容）
第1回 授業内容、注意事項、評価方法説明、参考作品紹介	シラバスを読む
第2回 宮城県美術館、佐藤忠良記念館の彫刻作品研究	彫刻についての資料研究
第3回 自分をモデルにする（自刻像）彫刻について	自習プリントを読む
第4回 制作 心棒作り、粘土練	自習プリントを読む
第5回 制作 荒付け、生動感と量の構成	自習プリントを読む
第6回 制作 荒付け 面を意識して	自習プリントを読み面について考察
第7回 制作 面の構成と塊、	自習プリントを読む
第8回 制作 面と細部	自習プリントを読み面。細部を考察について考察
第9回 制作 面と空間	自習プリントを読み空間について考察
第10回 石膏取り 説明、型作り	石膏取りプリントを読む
第11回 石膏取り 型作り 粘土抜き	石膏取りプリントを読む
第12回 石膏取り 型張り込み 型あわせ	石膏取りプリントを読む
第13回 石膏取り 割り出し	石膏取りプリントを読む
第14回 石膏取り 修正	石膏取りプリントを読む
第15回 講評会 生動感が表現されているか	石膏取りレポート提出

## ■ 履修上の注意

美術館の見学レポート、石膏取りのレポートを作成、提出します。作業の安全に留意して怪我をしないようにしてください。

## ■ 成績評価方法・基準

作品評価40%、授業態度（集中して制作しているか20%、学んだことを制作に活かそうとしているか20%）提出レポート20%（評価して返却します）

## ■ 教科書

プリント、資料を配布します。

## ■ 参考書

プリント、資料を配布します。「彫刻を作る」 美術出版社

## ■ 備考

質問は、オフィスアワーで受け付けます。

# プロダクトデザイン I

( 12157 )

単位：2単位

対象学科：美表2年

授業形態：実技 学期：前期

美術表現学科専攻科目

落合里麻

## ■ 授業の概要

プロダクトデザインの基礎となる知識・技法・スキルを学び、基礎的な表現力と発想力を身につけさせる。様々な分野における工業製品の事例（文房具、生活雑貨、家電、家具、インテリア等）を参考にしながら、デザインへの理解を促すとともに、その概念を把握できるよう指導する。〈課題1～3〉ではスケッチと三面図の作図を行うことで、物の構造を把握し、アイデアを外在化させるために必要な技術を習得させる。〈課題4〉ではアクリル板を使ったモビールをデザインし、制作する。素材の種類と加工方法について学び、イメージを形状化できるよう指導する。

## ■ 授業の到達目標

学位授与の方針との関連

- ・物の形状を短時間で的確に描くことができる。
- ・工業製品のデザインと構造を理解し、相手に伝えることができる。
- ・素材の種類と加工方法について理解できる。
- ・素材の特性を造形表現として活用できる。

①  
③  
③  
③

## ■ 授業計画

自習（事前・事後学修の内容）

第1回	ガイダンス、プロダクトデザインの事例について	プロダクトデザインの事例について調べる
第2回	〈課題1〉内容説明、構成、スケッチの実践、講評	構成を検討し、スケッチを進める
第3回	〈課題2〉内容説明、工業製品のスケッチの練習	描きたい工業製品を選び、準備する
第4回	〃 工業製品のスケッチの実践、講評	スケッチを練習する
第5回	〈課題3〉内容説明、比較する工業製品を検討する	比較する工業製品を決定し、準備する
第6回	〃 工業製品のデザインを比較する	デザインの比較を進める
第7回	〃 デザインを比較し、図示する	製図の参考図書を使って製図法を勉強する
第8回	〃 プレゼンボード制作	プレゼンボードのレイアウトを検討する
第9回	〃 プレゼンテーション	プレゼンボードを完成させる
第10回	〈課題4〉内容説明、アイデアスケッチ、デザイン検討	デザインを確定する
第11回	〃 材料、構造の検討	材料を選び、購入する
第12回	〃 制作（加工）	制作を進める
第13回	〃 制作（仕上げ、調整）	制作を進める
第14回	〃 プレゼンボード制作	プレゼンボードを完成させる
第15回	〃 プレゼンテーション	他学生のプレゼンから学んだ内容をまとめる

## ■ 履修上の注意

- ・材料や道具類、比較に使用する工業製品を各自で購入する必要がある。その点を考慮して履修すること。
- ・授業外の時間を使って制作を進めること。

## ■ 成績評価方法・基準

課題70%、授業態度（材料、道具の準備、整頓、清掃等を含む）30%で評価する。

授業内、講評会にてフィードバックを行う。

## ■ 教科書

特に定めない。

## ■ 参考書

〔デザインを学び始めた人のためのデザイン製図〕〔青木英明 他〕〔（株）ポーンデジタル〕〔2, 500円＋税〕  
 〔プロダクトデザインの基礎 スマートな生活を実現する71の知識〕〔JIDA「プロダクトデザインの基礎」編集委員会〕〔ワークスコーポレーション〕〔2, 400＋税〕

## ■ 備考

質問等については、授業内あるいはオフィスアワーに受け付ける。

## アニメ・ゲーム I

( 12165 )

単位：2単位

対象学科：美表2年

授業形態：実技 学期：前期

美術表現学科専攻科目

鈴木 専 柴田 広 大

## ■ 授業の概要

アニメ・ゲーム I のアニメーションの授業では、メディア芸術基礎 I の演習で用いたグラフィックソフト(Photoshop等)に加え、映像制作ソフト(After Effects等)、映像編集ソフト、DTM制作ソフト等を使用し、短編アニメーション作品または映像作品を制作する。ゲームの授業では昨年同様、非常勤講師によるゲーム制作についての講義・演習を行う予定である。この際ゲーム制作の一端を実際に経験し、理解を深めるきっかけとなることを期待する。アニメ・ゲームいずれの授業も、テーマ・表現力・技術的な事柄について様々な気づきと展開を促し、次の段階へ繋がるような指導を心掛ける。アニメーション(12回+1回ガイダンス)、ゲーム(2回)となる。

## ■ 授業の到達目標

学位授与の方針との関連

- ・基本的な知識・学習能力を身につける。
- ・作品を自分自身の問題意識と結びつけることが出来る。
- ・画像・映像ソフト等を用いて表現力を向上させる。

①  
①  
①

## ■ 授業計画

自習(事前・事後学修の内容)

第1回	1. ガイダンスとアニメ課題・1(短編作品の構想)	説明と準備。制作ノートの用意。
第2回	2. アニメ課題・1制作(構想+スケッチ+絵コンテ等)	作品の方向性を決め、内容を詰める。
第3回	3. アニメ制作(スケッチ等を暫定的にタイムライン化)	編集ソフト説明・制作ノートを確認。
第4回	4. アニメ制作(タイムラインを確認の上)	概要と課題についての説明と制作。
第5回	5. アニメ制作(タイムライン確認・部分的に動画化)	カット割りや時間について確認。
第6回	6. アニメ途中講評会(制作意図と改善箇所等を確認)	作品について感想や意見を交わす。
第7回	7. アニメ課題・2制作(課題1から展開したもの)	課題1から発展(連続)する作品を構想。
第8回	8. アニメ制作(演出、効果等について若干説明)	カット毎の時間を確認する。
第9回	9. アニメ制作(継続)	全体像を想定しながら進める。
第10回	10. アニメ制作、場合により中間講評(進行具合を考慮)	良い点、難しい点を確認する。
第11回	11. アニメ制作(場合により音・音響の説明、導入)	授業後半に編集と出力について説明。
第12回	12. アニメ制作(主に編集。出力時の映像形式の説明)	最終的な編集を詰める。
第13回	13. アニメ講評(制作意図や工程など一人ずつ発表)	作品について感想・意見を交わす。
第14回	14. ゲーム①(ソフトについての説明・演習・制作)	操作など、出来るだけ繰り返す。
第15回	15. ゲーム②(制作の継続、まとめ)	前回の授業を踏まえて展開。

## ■ 履修上の注意

※前述の通り、ガイダンス1・アニメ12・ゲーム2の授業数となる。

アニメとゲームの授業日程および準備等について、変更のある場合は随時指示する。

※講評会では自己の作品についてコメントを発表する。

※制作データはUSBメモリ等に保存し持参すること。また、バックアップも各々取ること。

## ■ 成績評価方法・基準

- ・課題(80%)と授業態度(20%)
- ・各課題については、授業中にフィードバックを行う。

## ■ 教科書

特に指示しない。

## ■ 参考書

参考となる、書籍・映像作品・ゲーム作品等については、DMR設置のモニタ等で随時紹介予定。

## 視覚デザインⅡ

( 12150 )

単位：2単位

対象学科：美表2年

授業形態：実技 学期：後期

美術表現学科専攻科目

三 上 秀 夫

## ■ 授業の概要

グラフィックデザインにおける、イラストのもつ「表現力」とイメージ「伝達力」といった特徴と魅力を確認する授業である。イラストでよりよい説明・伝達が行えることを目的とした課題を設定し、各自の特徴や個性を盛り込んだ表現について指導する。表現は手描き、グラフィックソフト等を用い、プレゼンテーションは、紙芝居形式から視聴覚器機を使ったものまで幅を持たせた指導を行う。

## ■ 授業の到達目標

学位授与の方針との関連

・ 基本的なデザインスキルを身につける。	②
・ 情報を図やイラストにまとめる力を身につける。	③
・ 創造力、思考力、コミュニケーション能力を身につける。	⑤

## ■ 授業計画

自習（事前・事後学修の内容）

第1回	ガイダンス（授業の進め方、課題の発表、評価方法について）	次回の課題について情報を集める。
第2回	絵本制作 テーマ設定	作品制作①
第3回	絵本制作 情報収集	作品制作②
第4回	絵本制作 計画、スケジュール確認	作品制作③
第5回	絵本制作 素材、材料の確認 アイディアスケッチ 下描き	作品制作④
第6回	絵本制作 ストーリー確認	作品制作⑤
第7回	絵本制作 中間発表（進捗状況確認）	作品制作⑥
第8回	絵本制作 中間発表での意見や感想を制作に生かす。	作品制作⑦
第9回	絵本制作 完成	作品制作⑧
第10回	絵本制作 発表 次課題の説明 準備物の確認	作品写真等の準備をする。
第11回	ポートフォリオ制作 課題説明 作例紹介	作品制作⑨
第12回	ポートフォリオ制作 資料確認	作品制作⑩
第13回	ポートフォリオ制作 資料の加工 整理	作品制作⑪
第14回	ポートフォリオ制作 ファイリング 製本	作品制作⑫
第15回	ポートフォリオ制作 提出 講評	完成させ提出する。

## ■ 履修上の注意

用具、材料については授業でその都度指示する。

## ■ 成績評価方法・基準

提出課題40%（必ず提出すること。未提出がある場合は、評価の対象としないことがある。）授業態度（20%）、講評での発表の内容（40%）で評価する。課題に関しては、講評時にフィードバックを行う。

## ■ 教科書

無し 授業時にプリントを配布する

## ■ 参考書

無し

## ■ 備考

授業計画の順番等を変更することがある。質問等については、授業時あるいはオフィスアワー（曜日日時は掲示で確認）に受け付けます。



## 情報デザインⅡ

( 12154 )

単位：2単位  
 対象学科：美表2年  
 授業形態：実技 学期：後期  
 美術表現学科専攻科目  
 鶴 巻 史 子

### ■ 授業の概要

情報デザインとは、モノ・コト・ヒトの関係性に“かたち”を与える方法論であり、複雑な情報や仕組みを整理し、わかりやすく伝えるための手法である。情報デザインⅡでは、グラフィックソフトとアニメーションソフト（Animate）を用いた「プロジェクトマッピング」演習に取り組み、特殊な視覚効果を生み出す動画表現の知識・技法・スキルを修得する。動画表現の基礎的な考え方を理解し、表現の幅を広げられるよう指導する。

### ■ 授業の到達目標

学位授与の方針との関連

- ・動画表現の基礎的な考え方を理解し表現できる
- ・アニメーションソフトを用いて、情報の可視化ができる
- ・情報を正確にわかりやすく伝える表現ができる

③

④

⑥

### ■ 授業計画

自習（事前・事後学修の内容）

第1回	ガイダンス	ソフトについての調査・制作準備
第2回	プロジェクトマッピング概要	PM作品の調査・PM表現まとめ
第3回	Animateの基本操作と原理	制作準備・制作プロセスまとめ
第4回	課題1：Animate基礎演習	制作技法の調査・課題のまとめ
第5回	課題2：プロジェクトマッピング演習①   情報収集	情報の収集・制作プロセスまとめ
第6回	課題2：情報整理・分類、テーマ設定	情報の整理・制作プロセスまとめ
第7回	課題2：アイデアスケッチ、デザイン検討、制作	デザインの調査・制作プロセスまとめ
第8回	課題2：ブラッシュアップ、完成	ブラッシュアップ・制作プロセスまとめ
第9回	課題2：プレゼンテーション、講評、提出	プレゼン準備・課題のまとめ
第10回	課題3：プロジェクトマッピング演習②   情報収集	情報の収集・制作プロセスまとめ
第11回	課題3：情報整理・分類、テーマ設定	情報の整理・制作プロセスまとめ
第12回	課題3：アイデアスケッチ、デザイン検討、制作	デザインの調査・制作プロセスまとめ
第13回	課題3：中間プレゼンテーション	中間プレゼン準備・ブラッシュアップ
第14回	課題3：修正、完成	ブラッシュアップ・制作プロセスまとめ
第15回	課題3：プレゼンテーション、講評、提出	プレゼン準備・課題のまとめ

### ■ 履修上の注意

情報デザインⅠを履修していることが望ましい。授業開始時に重要な説明があるので遅刻をしないよう注意。グループワークでは相互に協力・協働して積極的に課題に取り組むよう心がける。制作データはUSBメモリ等に保存し持参する。

### ■ 成績評価方法・基準

課題（制作物）60%、出席を含む平常点（授業態度、取り組みの姿勢、グループワーク、プレゼンテーション等）40%、課題作品については、授業中にフィードバックする。

### ■ 教科書

プリントを配布する、適宜指示する

### ■ 参考書

「デザインはストーリーテリング」エレン・ラプトン著（BNN新社）

### ■ 備考

機器台数に限りがあるため定員を定める場合がある。質問等については、授業終了時あるいはオフィスアワー（曜日時間は掲示で確認）に受け付ける。

### ■ 備考

- ・場合により課題や日程については変更することがある。
- ・質問等については、授業終了時あるいはオフィスアワー（曜日時は掲示で確認）で受け付ける。

## 統計学

( 30102 )

単位：2単位

対象学科：食専2年

授業形態：講義 学期：後期

食物栄養学専攻科目

池田展敏

## ■ 授業の概要

前半では、集団の性質を大局的にとらえるための記述統計（度数分布、代表値、散布度、特に標準偏差、相関係数など）の初歩的事項について解説し、簡単な例で計算練習する。中盤では、統計学の応用のために不可欠な確率と確率分布（正規分布、t分布、カイ二乗分布など）について説明する。後半では、推定や検定など推測統計の考え方について説明する。実際の統計処理にはコンピュータが欠かせないので、エクセル等を用いた実習も行う。知識を憶えるだけでなく自らの頭で考える努力を重視する。

## ■ 授業の到達目標

学位授与の方針との関連

・平均、標準偏差、相関係数などの意味と定義を理解し、その計算ができるようになる。	①
・パソコンで統計データを整理できるようになる。	①③
・就職試験に出題されるような、簡単な確率や数え上げの問題が解けるようになること。	①
・統計学で使われる確率分布の種類について理解し、区間推定に応用できる。	①
・統計的検定の考え方を理解できる。	①③

## ■ 授業計画

自習（事前・事後学修の内容）

第1回 序章：ガイダンス、統計学のイメージと概要（記述と推測）	教科書のガイダンスの章を読むこと。
第2回 資料の整理（データと度数分布）	教科書該当ページを読む。配布プリントの復習。
第3回 資料の整理（ヒストグラム、データの代表値）	教科書該当ページを読む。配布プリントの復習。
第4回 資料の整理（散布度、偏差、分散）	教科書該当ページを読む。計算例の確認。
第5回 資料の整理（標準偏差、データの標準化）	教科書該当ページを読む。計算例の確認。
第6回 資料の整理（散布図、共分散、相関係数）	教科書該当ページを読む。散布図、計算例の確認。
第7回 確率（統計的確率と数学的確率、コイン投げの例）	教科書該当ページを読む。エクセル課題を仕上げ印刷する。
第8回 確率（順列や組み合わせなどの場合の数と確率）	教科書該当ページを読む。計算例の確認。
第9回 確率（確率変数、確率分布）	該当ページを読む。
第10回 確率（確率変数の平均値の定義、確率分布の例）	全体復習。確率に関する提出課題に取り組む。
第11回 確率（分布表の使い方、%点）	教科書該当ページを読む。ノートの復習。
第12回 なぜ正規分布が必要か。	教科書該当ページを読む。確率分布表の使い方確認。
第13回 区間推定に関する演習	教科書該当ページを読む。ノートの復習。
第14回 検定の考え方	教科書該当ページを読む。プリントの復習。
第15回 クロス表集計と検定	教科書該当ページを読む。推定・検定の例題の復習。
第16回 試験	提出課題を復習して臨むこと。

## ■ 履修上の注意

電卓が必要な時があるので持参すること。

## ■ 成績評価方法・基準

期末テスト（50%）。問題レポート（35%）。エクセル演習レポート（15%）  
レポートは後日添削して返却する。試験は試験後に解答例を配布する。

## ■ 教科書

らくらく統計学 統計学教育研究会編 ムイスリ出版 2350円

## ■ 参考書

なし

## ■ 備考

質問等については、授業終了時あるいはオフィスアワー（曜日時間は掲示で確認）で受け付けます。

## ピアノⅠ

( 30245 )

単位：1単位

対象学科：子専1年

授業形態：演習 学期：前期

子ども生活専攻科目

佐藤和貴 阿部玲子 渡邊 恵 大友詠里子 阿部陽子

## ■ 授業の概要

幼児の音楽的感性を育てるために、保育者として必要なピアノの基礎技能を修得する。基本的な音楽理論の理解を深めながら、演奏法を主として、ピアノの演奏能力の向上させる練習方法を身に付ける。授業形態は、一斉指導と個別指導を駆使し、運指、読譜等の初歩的なスキルを獲得しながら、最も基本的なピアノ曲の演奏法を身に付ける。子どものうた（春、夏、季節のうた、生活のうた）の弾き歌い、簡易伴奏法（コードなど）について実践できるようになる。高等学校教諭としての経験を生かし、総合的な音楽の諸能力の指導とピアノ演奏の能力を高めていく授業を行う。

## ■ 授業の到達目標

学位授与の方針との関連

・ピアノの演奏の基礎的な技術を身に付ける。〔ピアノテキスト〕P.45までの課題	④⑥
・子どもの歌の弾き歌いの技能を身に付ける。〔こどものうた100〕より5～10曲	④⑥
・音楽の基礎知識を基に、基礎的な簡易伴奏法を身に付ける。	④⑤

## ■ 授業計画

自習（事前・事後学修の内容）

第1回 ガイダンス／ピアノ曲を弾く	前期学修の見直しを立てる。
第2回 ピアノ曲を弾く・童謡の弾き歌い（p.6～22）	空き時間などを利用して日常的に、課題の練習をする。
第3回 ピアノ曲を弾く・童謡の弾き歌い（p.24～34） ハ長調、ト長調のスリーコード	日常的に、課題の練習をすることを身に付ける。 ハ、ヘ長調の3コードを仕組みを考えながら弾く。
第4回 ピアノ曲を弾く・童謡の弾き歌い（p.36～46） ヘ長調、ニ長調のスリーコード	日常的に、課題の練習をすることを身に付ける。 ヘ、ニ長調の3コードを仕組みを考えながら弾く。
第5回 ピアノ曲を弾く・童謡の弾き歌い（p.48～54） スリーコードによる簡易伴奏法①	日常的に、課題の練習をすることを身に付ける。 3コードやカデンツを利用して簡易伴奏に生かす。
第6回 ピアノ曲を弾く・童謡の弾き歌い（p.56～62） スリーコードによる簡易伴奏法②	日常的に、課題の練習をすることを身に付ける。 3コードやカデンツを利用して簡易伴奏に生かす。
第7回 ピアノ曲を弾く・童謡の弾き歌い（p.65～71）	空き時間などを利用して日常的な課題の練習に励む。
第8回 ピアノ曲を弾く・童謡の弾き歌い（p.72～78）	空き時間などを利用して日常的な課題の練習に励む。
第9回 ピアノ曲を弾く・童謡の弾き歌い（p.80～84）簡易伴奏試験	日常的な練習が良い結果を招くことを学ぶ。 他人の前で演奏することを想像しながら練習する。
第10回 ピアノ曲を弾く・童謡の弾き歌い（p.86～94）	空き時間などを利用して日常的な課題の練習に励む。
第11回 ピアノ曲を弾く・童謡の弾き歌い（p.162～168）	空き時間などを利用して日常的な課題の練習に励む。
第12回 ピアノ曲を弾く・童謡の弾き歌い（p.170～175）	空き時間などを利用して日常的な課題の練習に励む。
第13回 ピアノ曲を弾く・童謡の弾き歌い（p.178～184）	空き時間などを利用して日常的な課題の練習に励む。
第14回 ピアノ曲を弾く・童謡の弾き歌い（p.186～189）	空き時間などを利用して日常的な課題の練習に励む。
第15回 ピアノ曲を弾く・童謡の弾き歌い（p.192～195）	空き時間などを利用して日常的な課題の練習に励む。
第16回 発表試験	他人の前で演奏することを想像しながら練習する。

## ■ 履修上の注意

課題を毎日充分練習し、課題を明瞭にした上で授業に臨むこと。

## ■ 成績評価方法・基準

発表試験の内容40%、平常点60%（平常点は、授業の中で明示した課題への取り組み方、進捗状況、受講態度等で総合的に判断する。）試験の結果については都度フィードバックする。

■ 教科書

こどものうた100 [小林美実] [チャイルド本社] [1, 600円] / [ピアノテキスト] [吉野幸男] [ドレミ楽譜出版]  
[2, 000円] / 「音楽事始」

■ 参考書

なし

■ 備考

質問等については、授業終了後やオフィスアワーで受け付ける。

## 地球環境学

( 30002 )

単位：2単位

対象学科：子専2年・食専2年

授業形態：講義 学期：後期

生活文化学科共通教養科目

黒川 優子

## ■ 授業の概要

日本各地で公害問題が多発した1960～1970年代の高度経済成長期から約半世紀が経過した今日では、法的な規制、汚染物質の浄化技術の発達、そして人々の環境に関する意識の向上のため、見た目の環境はかなり良くなったが、地球温暖化をはじめ、地球レベルで対策を講じなければならない課題も少なくない。したがって、環境問題に関する基礎的な知識を習得し、「環境を保全、修復するために何をすべきか」について理解を深めることが大切であり、これまでに取り組んできた調査・研究の成果を説明しながら講義を進める。

## ■ 授業の到達目標

学位授与の方針との関連

・環境に関する基礎的知識を身に付ける。	①②
・環境との関わり方の大切さについて理解を深める。	①②
・環境に関する正しい情報を選択できる力を身に付ける。	①②

## ■ 授業計画

自習（事前・事後学修の内容）

第1回 地球環境学とは	事後：授業内容の復習。
第2回 人間活動と環境とのかかわり	事前：教科書の該当ページを読む。 事後：授業内容の復習。
第3回 水俣病	事後：授業内容の復習。 関連内容について情報を収集し、 自分の意見をまとめる。
第4回 飲料水と食品に関する今後の課題	事前：教科書の該当ページを読む。 事後：授業内容の復習。
第5回 中村 哲医師：アフガンとの約束	事後：授業内容の復習。 関連内容について情報を収集し、 自分の意見をまとめる。
第6回 環境変化に伴う異変	事前：教科書の該当ページを読む。 事後：授業内容の復習。
第7回 外来種問題	事前：教科書の該当ページを読む。 事後：授業内容の復習。
第8回 環境DNA	事後：授業内容の復習。 関連内容について情報を収集し、 自分の意見をまとめる。
第9回 化学物質汚染研究の基礎	事前：教科書の該当ページを読む。 事後：授業内容の復習。
第10回 大気汚染・水質汚染・土壌汚染	事前：教科書の該当ページを読む。 事後：授業内容の復習。
第11回 化学物質による汚染	事前：教科書の該当ページを読む。 事後：授業内容の復習。
第12回 内分泌攪乱物質	事前：教科書の該当ページを読む。 事後：授業内容の復習。
第13回 エコチル調査	事後：授業内容の復習。 関連内容について情報を収集し、 自分の意見をまとめる。
第14回 環境活動の実践と環境倫理	事前：教科書の該当ページを読む。 事後：授業内容の復習。
第15回 環境教育	事後：授業内容の復習。 関連内容について情報を収集し、 自分の意見をまとめる。
第16回 試験	授業で学んだこと総復習して試験に臨むこと。

## ■ 履修上の注意

日頃から環境に関心・興味を持つように心がけ、新聞、テレビ、インターネット、書籍等で環境に関する情報について調べておく。

**■ 成績評価方法・基準**

- ・授業への取り組み（30％）、課題への取り組み（30％）、試験（40％）
- ・提出された課題については、後日、添削して返却する。

**■ 教科書**

「環境科学入門 第2版－地球と人類の未来のために」川合真一郎・張野宏也・山本義和（化学同人）〔2, 300円〕

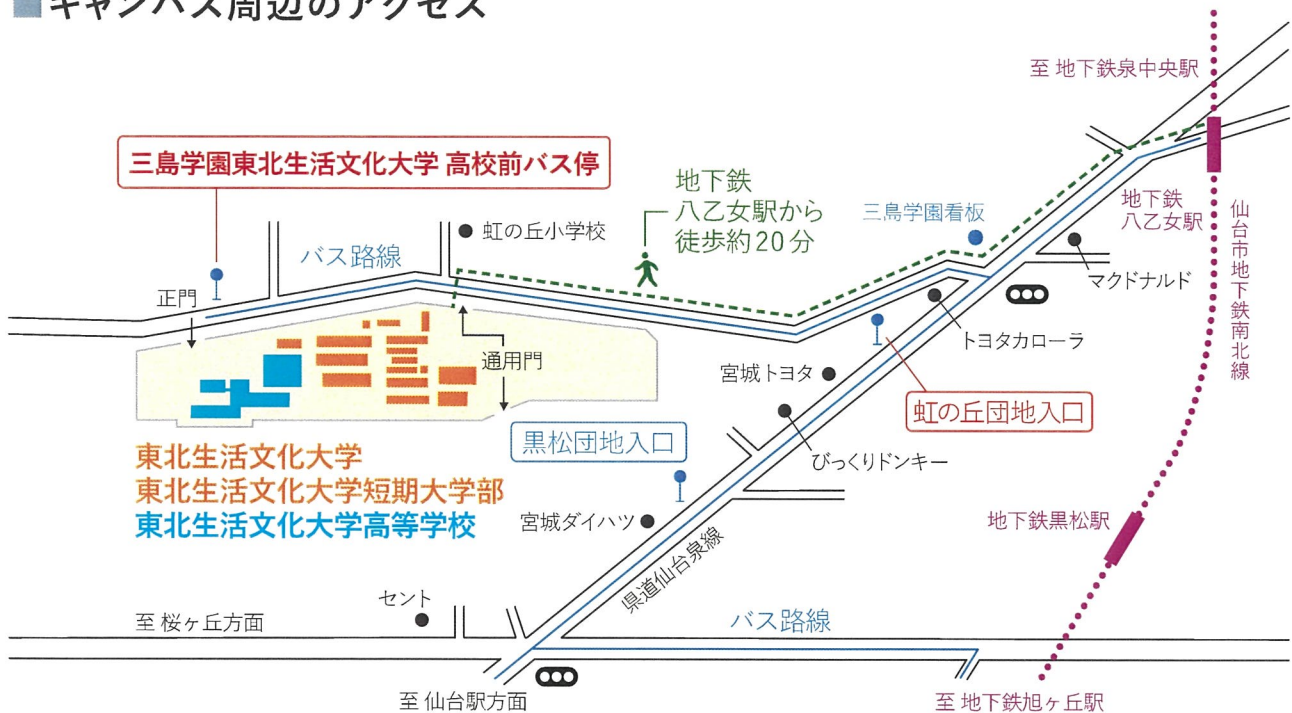
**■ 参考書**

- ・〔環境ホルモンと水生生物〕〔川合真一郎〕〔成山堂書店〕〔1, 600円〕
- ・〔沈黙の春〕〔レイチェル・カーソン著、青樹築一訳〕〔新潮社〕〔766円〕
- ・〔新装版 苦海浄土（くがいじょうど） わが水俣病〕〔石牟礼道子〕〔講談社〕〔690円〕
- ・〔森は海の恋人〕〔畠山重篤〕〔文芸春秋〕〔640円〕
- ・〔牡蠣の森と生きる「森は海の恋人」の30年〕〔畠山重篤〕〔中央公論新社〕〔1, 430円〕
- ・〔人は愛するに足り、真心は信ずるに足る アフガンとの約束〕〔中村 哲、澤地久枝（聞き手）〕〔岩波書店〕〔2, 310円〕
- ・〔脱プラスチックへの挑戦 持続可能な地球と世界ビジネスの潮流〕〔堅達京子〕〔山と溪谷社〕〔1, 650円〕
- ・〔環境再興史〕〔石 弘之〕〔角川新書〕〔990円〕
- ・〔データでわかる2030年地球のすがた〕〔夫馬賢治〕〔日経プレミアシリーズ〕〔990円〕
- ・〔売り渡される食の安全〕〔山田正彦〕〔角川新書〕〔946円〕
- ・〔世界を驚かせた頭のいい江戸のエコ生活〕〔菅野俊輔〕〔青春出版社〕〔922円〕
- ・〔ハチドリの一としづく〕〔監修・辻 信一〕〔光文社〕〔1, 143円〕

**■ 備考**

- ・都合により、授業計画の順番等を変更することがある。
- ・質問等については、授業終了時あるいはオフィスアワー（曜日時間は掲示で確認）に受け付ける。

## ■ キャンパス周辺のアクセス



### 仙台駅前からバス利用の場合

- 西口バスプール4番乗り場【宮城交通バス】  
(県庁市役所経由)  
「虹の丘団地(黒松団地入口経由)」行き  
「泉中央駅(虹の丘・みずほ台経由)」行き  
「八乙女駅(虹の丘・加茂団地経由)」行き  
▼ 約25分  
「三島学園東北生活文化大学・高校前」下車(片道350円)  
(県庁市役所経由)  
「富谷営業所」行き  
「向陽台団地」行き  
「明石台団地」行き  
「松陵ニュータウン(免許センター経由)」行き  
「鶴が丘ニュータウン(住宅前経由、免許センター経由)」行き  
「東北学院大学泉キャンパス」行き  
「新富谷ガーデンシティ」行き  
「八乙女駅/黒松二丁目経由、虹の丘団地入口経由【市バス】」  
▼ 約25分  
「虹の丘団地入口」下車、徒歩約10分(片道330円)

### 地下鉄南北線からバス利用の場合

- 八乙女駅2番乗り場【宮城交通バス】  
「仙台駅前(みずほ台・虹の丘経由)」行き  
▼ 約10分  
「三島学園東北生活文化大学・高校前」下車(片道170円)
- 八乙女駅入口【宮城交通バス】  
「仙台駅前(みずほ台・虹の丘経由)」行き  
▼ 約10分  
「三島学園東北生活文化大学・高校前」下車(片道170円)

経路・運賃等は変更となる場合があります。  
詳しくは宮城交通バスのホームページにてご確認ください。  
宮城交通バス / <http://www.miyakou.co.jp/>



教 務 課

〒981-8585 仙台市泉区虹の丘一丁目18番地の2

TEL : 022-272-7513

FAX : 022-301-5602

E-mail : [dkyomu@mishima.ac.jp](mailto:dkyomu@mishima.ac.jp)